

前金	部分払	
有	一回	

令和6年度営教施補第39号

津市立千里ヶ丘小学校長寿命化改修工事

工事場所	津市 河芸町千里ヶ丘 地内														
工 期	契約締結日から起算して240日間														
工事概要	改修 (防水改修、外壁改修、建具改修、内外装改修、塗装改修、 躯体改修) 増築 昇降機棟 鉄骨造 地上3階、地下1階建 延面積56㎡ 外構 ※上記に係る建築工事等 一式														
<table><tr><td>部長</td><td>参事</td><td>営繕課長</td><td>調整・建築営繕担当主幹 検算者</td><td>建築営繕担当 照査責任者</td><td>担当</td><td>設計者</td></tr><tr><td colspan="4">設備担当主幹 検算者</td><td>設備担当 照査責任者</td><td>担当</td><td>設計者</td></tr></table>		部長	参事	営繕課長	調整・建築営繕担当主幹 検算者	建築営繕担当 照査責任者	担当	設計者	設備担当主幹 検算者				設備担当 照査責任者	担当	設計者
部長	参事	営繕課長	調整・建築営繕担当主幹 検算者	建築営繕担当 照査責任者	担当	設計者									
設備担当主幹 検算者				設備担当 照査責任者	担当	設計者									

名	称	数	量	単位	金	額	備	考
直接工事費								
建築		1		式				
電気設備		1		式				
機械設備		1		式				
昇降機設備		1		式				
計								
共通費								
共通仮設費		1		式				
現場管理費		1		式				
一般管理費等		1		式				
計								
工事価格		1		式				
消費税等相当額		1		式				
工事費		1		式				

[illegible]

津市建設部

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
外壁改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
発生材処分		1	式		

[illegible]

津市建設部

津市建設部

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 防水改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗い	高圧洗浄10～15MPa	317	m ²			
下地調整	平場、立上り エチレン酢酸ビニル系ボンドリマーセメント 仮防水仕様、クレタ清掃共	1,563	m ²			
下地調整	エポキシ系ボンドリマーセメント クレタ清掃共	152	m ²			
伸縮目地樹脂モルタル充填	ガラス発泡骨材入り	1,034	m			
塗膜防水	X-1 緩衝工法 クレタコンクリート系 平面 上塗材フッ素	1,265	m ²			
塗膜防水	X-2 密着工法 クレタコンクリート系 立上り 上塗材フッ素	250	m ²			
クレタ塗膜防水	X-1 断熱機械固定工法 上塗材フッ素	200	m ²			
立上り入隅金物	防錆処理	87.9	m			
自閉樹脂塗膜防水	ボンドリマーセメント系塗膜防水エチレン酢酸ビニル 軽歩行用 保護コート塗	1.9	m ²			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 30×10	68.2	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 20×10	1,224	m			
シーリング	一般部 変成シリコン系 (MS-2) 15×10	66.2	m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系 (PU-2) 20×10	480	m			
シーリング	一般部 ポリウレタン系 (PU-2) 30×10	3.1	m			
改修用ドレン	φ100 縦引用 鋳鉄製キャップ付	14	か所			
改修用ドレン	φ100 横引用 鋳鉄製キャップ付	6	か所			
脱気筒	ステンレス製、補強クロス共	23	か所			
ステンレスガラリ塞ぎ	SUS-2B PL-1.2 W660×D410	8	か所			
計						

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 外壁改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
水洗い	高圧洗浄10～15MPa 屋外階段、巾木	104	m ²			
水洗い	高圧洗浄10～15MPa タイル	91.1	m ²			
水洗い	高圧洗浄30～50MPa	2,354	m ²			
施工数量調査	打診検査、報告書作成費共	1	式			
ひび割れ部改修	(外部)モルタル面、コンクリート面 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	66.5	m			
ひび割れ部改修	(外部)モルタル面、コンクリート面 Uカットシーリング材充填工法	69.8	m			
浮き部改修	(外部)モルタル面 アンカービシニング部分エポキシ樹脂注入工法 16本/m ² 、25ml/穴	197	m ²			
浮き部改修	(外部)モルタル面 見上 アンカービシニング部分エポキシ樹脂注入工法 25本/m ² 、25ml/穴	14.1	m ²			
浮き部改修	(外部)モルタル 細幅面 アンカービシニング部分エポキシ樹脂注入工法 5本/m、25ml/穴	137	m			
欠損部改修	モルタル面、コンクリート面 鉄筋防錆 樹脂モルタル塗50×50程度	1,098	か所			
欠損部改修	モルタル面、コンクリート面 鉄筋防錆 樹脂モルタル塗100×100程度	130	か所			
欠損部改修	モルタル面、コンクリート面 鉄筋防錆 樹脂モルタル塗200×100程度	29	か所			
欠損部改修	(外部)モルタル面、コンクリート面 鉄筋防錆 樹脂モルタル塗300×100程度	23	か所			
複層塗材 E	凹凸模様 吹付け 水系フッソ つやあり 下塗1回・主材塗2回・ 上塗2回 下地調整(C-1)共	1,947	m ²			
複層塗材 E	凹凸模様 吹付け 水系フッソ つやあり 下塗1回・主材塗2回・ 上塗2回 下地調整(C-2)共	131	m ²			
外装薄塗材 E	砂壁状 吹付け 下塗り1回・主材塗2回 下地調整費(C-1)共	404	m ²			
外装薄塗材 E	砂壁状 吹付け 下塗り1回・主材塗2回 下地調整費(C-2)共	3.3	m ²			
硬質ポリ塩化ビニル管とい(カー)	径100 SUS掴み金物共	145	m			
飾り桧	塩ビ製(カー) φ100用	20	か所			
給排水跡補修	防水モルタル詰め、複層塗材E吹付	1	式			

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 建具改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<鋼製建具>						
KSS-2	取付調整費共 自動開鎖装置改修	2	か所			
KSS-2	取付調整費共 ローチェン改修	1	か所			
KSS-4	取付調整費共 自動・手動開鎖装置改修	1	か所			
KSS-4	取付調整費共 ローチェン改修	1	か所			
KSS-5	取付調整費共 開閉機、自動開鎖装置、電気式手動 閉鎖装置改修	1	か所			
KSD-4	取付調整費共 遮煙性能改修	1	か所			
KSD-5	取付調整費共 遮煙性能改修	3	か所			
KSD-6	ドアクローザー、取付調整費共 遮煙性能改修	2	か所			
<鋼製建具>						
SD-2	W600×H1620 特定防火設備	1	か所			
SD-3	W800×H1800 特定防火設備	1	か所			
SD-4	W600×H1650 特定防火設備	1	か所			
SD-5	W600×H1720 特定防火設備	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
<アルミ製建具>						
KAW-41 防火設備	W2, 125×H1, 895 カバ工法	1	か所			
KAW-41` 防火設備	W2, 125×H1, 895 カバ工法	1	か所			
KAW-42 防火設備	W4, 820×H1, 895 カバ工法	1	か所			
KAW-43 防火設備	W5, 170×H1, 895 カバ工法	1	か所			

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 建具改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
KAW-43 防火設備	W5, 170×H1, 895 カバ-工法	1	か所			
KAW-51 防火設備	W4, 820×H1, 895 カバ-工法	1	か所			
KAD-21 防火設備	W680×H1, 830 カバ-工法	1	か所			
KAD-25 防火設備	W710×H1, 830 カバ-工法	1	か所			
運搬、取付け		1	式			
<ガラス>						
網入磨き板ガラス	厚さ6.8 ひ し	27.7	m ²			
網入型板ガラス	厚さ6.8 ひし	13.5	m ²			
強化ガラス	厚さ 5mm	3.8	m ²			
型板強化ガラス	厚さ 4mm 特寸 2.0m ² 以下 ガラスとめ材別途 清掃共	1.7	m ²			
ガラス止めシーリング	シリコン 1成分形 SR-1 防火戸用	362	m			
ガラス止めシーリング	シリコン 1成分形 SR-1	53.6	m			
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	16.2	m			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	1.6	m ²			
計						

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 内装改修 撤去						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
屋上フェンス撤去	ネットフェンスH=1500 L=111m程度 門戸撤去共	1	式			
百葉箱設置跡撤去	W3120×H210×D3500程度	1	式			
CB撤去	H190×W390×D100 30個程度	1	式			
(内部)						
木製ビークチャーレル 撤去	W40 集積共	16	m			
掲示クロス 撤去	集積共	87	m ²			
天井合板・ボード 撤去	一重張り 一般 既設点検口脱着、集積共	91.3	m ²			
<手洗い関係>						
カッター入れ	モルタル面 厚さ20～30mm	72	m			
人研ぎ手洗い撤去	W1800×D500×H950程度 集積共	10	か所			
SUS手洗い撤去	W1500×D600×H720程度 集積共	5	か所			
<手摺り関係>						
既設鋼製手摺り撤去	Φ60	6	か所			
計						

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 内装改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
<左官>						
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 防水下地	36.5	m ²			
<エントその他>						
屋上フェンス新設	スチールフェンスH=1500 エポキシ付き	110	m			
ネットフェンス門扉	片開き W1000×H1500	1	か所			
ゴムシート敷き	900×900 t2.0	52	か所			
ゴムシート敷き	900×1900 t2.0	1	か所			
折半一時撤去復旧		1	式			
(内部)						
<内装>						
掲示クロス		87	m ²			
ビニル床シート	無地 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 多湿部 熱溶接工法 -	12	m ²			
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	12	m ²			
ビニル幅木	高さ100	20	m			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	20	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り (GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライバーン 突付け	69.5	m ²			
天井 せっこうボード 張り (GB-R)	厚 9.5 準不燃 目透かし	21.8	m ²			
天井点検口	一般タイプ アルミ製 内外枠共額縁 450角	4	か所			
天井廻縁	塩化ビニル製	93.2	m			

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 塗装改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
(外部)						
D P 塗り 改修仕様	鉄鋼面 1級 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	106	m ²			
D P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面 1級 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	260	m			
(内部)						
E P 塗り 改修仕様	モルタル・プ ラスター面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	1,447	m ²			
E P 塗り 改修仕様	ポ ー ト 面 工程B種(見上) 下地調整RC種(塗替え面)	1,346	m ²			
E P 塗り 改修仕様	モルタル・プ ラスター面 工程B種(見上) 下地調整RB種(塗替え面)	129	m ²			
E P 塗り	ポ ー ト 面 工程B種(見上) 素地B種	21.8	m ²			
E P 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	モルタル面 工程B種(一般) 下地調整RB種(塗替え面)	19.7	m			
E P - G 塗り 改修仕様	鉄鋼面工程B種 錆止工程C種 現場2回塗り 水系さび止め 下地調整RB種(塗替え面)	172	m ²			
E P - G 塗り 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面) 壁	77.8	m ²			
E P - G 塗り	鉄鋼面 工程B種 錆止工程A種 現場2回目塗料B種(鉛・クロム7リ-2種) 屋内1回目別途	9.8	m ²			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	木部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	712	m			
E P - G 塗り (糸幅300mm以下) 改修仕様	鉄鋼面部 工程B種 下地調整RB種(塗替え面)	95.6	m			
計						

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 躯体改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<コンクリート>						
コンクリート	Fc=21 SL-18	11.9	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			別紙 00-0009
<型枠>						
型枠	打放合板型枠B種	59.3	m ²			
型枠運搬費		1	式			
打放し面補修	B 種 コーン処理 部分目違いばらい	59.3	m ²			
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295 D10 少量	0.4	t			
鉄筋加工組立		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
スクラップ 控除	鉄くず H2	0.1	t			
計						

[illegible]

普通教室棟B 改修					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	改修	1	式		
計					
外壁改修	撤去	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内外装改修	撤去	1	式		
内外装改修	改修	1	式		
計					
塗装改修	改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
躯体改修	改修	1	式		
計					
発生材処分		1	式		
計					

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟B 改修		内外装改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<内装>						
ビニル床シート	マフール 厚さ2.0 複層ビニル床シートFS 一般床 熱溶接工法 -	11.5	m ²			
幅木	ラワン H=100	22.9	m			
軽量鉄骨下がり壁 下地	19形(屋内) H300～500程度	3.9	m			
下り壁見切縁	アルミ製	3.9	m			
壁 せっこうボード 張り(GB-R)	厚12.5 不燃 鋼製、木、ボード下地 継目処理 - -	2	m ²			
軽量鉄骨天井下地	19形(屋内) ふところ1.5m未満 下地張りなし @300 インサート含む	10.3	m ²			
天井 化粧 せっこうボード 張り(GB-D)	厚 9.5 準不燃 トライバーチン 突付け	10.3	m ²			
天井廻縁	塩化ビニル製	16.2	m			
手摺り	SUS製 Φ34	10.4	m			
<左官>						
床モルタル塗り	金ごて ビニル系床材下地 厚28	6.8	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	43.1	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 外壁 厚25 鉄筋露出部錆止め共	6.6	m ²			
<エントその他>						
収納棚	W3,925×D440×H980	3	か所			
収納棚	W2,300×D440×H980	3	か所			
備品類取外し再取付		1	式			別紙 00-0021
計						

津市建設部営繕課

[illegible]

普通教室棟B 改修		躯体改修		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
<鉄筋>						
異形棒鋼	SD295 D10 少量	0.1	t			
異形棒鋼	SD295 D13 少量	0.1	t			
鉄筋加工組立		1	式			
鉄筋運搬費		1	式			
スクラップ 控除	鉄くず H2程度	0.1	t			
あと施工アンカー	D10 横向き 接着系	60	本			
あと施工アンカー	D10 上向き 接着系	30	本			
あと施工アンカー	D10 下向き 接着系	30	本			
<コンクリート>						
コンクリート	Fc21+S S18	1.1	m ³			
コンクリート打設手間	圧送費共	1	式			別紙 00-0022
無収縮モルタル注入	試験費共	0.2	m ³			
<型枠>						
普通合板型枠	地上軸部	14.6	m ²			
型枠運搬費		1	式			
無収縮モルタル用型枠	両面木製 シール共	4.7	m			
計						

津市建設部営繕課

[illegible]

特別教室棟 改修					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
防水改修	撤去	1	式		
防水改修	改修	1	式		
計					
建具改修	撤去	1	式		
建具改修	改修	1	式		
計					
内装改修	撤去	1	式		
内装改修	改修	1	式		
計					
躯体改修	撤去	1	式		
計					
発生材処分		1	式		
計					

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

昇降機棟 増築						
名	称	数	量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1		式		
土工		1		式		
地業		1		式		
鉄筋		1		式		
コンクリート		1		式		
型枠		1		式		
鉄骨		1		式		
既製コンクリート		1		式		
防水		1		式		
屋根及びとい		1		式		
金属		1		式		
左官		1		式		
建具		1		式		
塗装		1		式		
内装		1		式		
計						

昇降機棟 増築					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
直接仮設		1	式		
計					
土工		1	式		
計					
地業	地業	1	式		
地業	杭地業	1	式		
計					
鉄筋	躯体	1	式		
計					
コンクリート	躯体	1	式		
計					
型枠	躯体	1	式		
計					
鉄骨	鋼材費	1	式		
鉄骨	製作費	1	式		
計					
既製コンクリート	外部	1	式		
計					
防水	外部	1	式		
防水	内部	1	式		

昇降機棟 増築					
科 目 名 称	中 科 目 名 称	数 量	単位	金 額	備 考
計					
屋根及びとい	外部	1	式		
計					
金属	外部	1	式		
金属	内部	1	式		
計					
左官	外部	1	式		
左官	内部	1	式		
計					
建具		1	式		
計					
塗装	内部	1	式		
計					
内装		1	式		
計					

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

昇降機棟 増築		鉄骨		鋼材費		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
角形鋼管	BCR295 □-250*250*9	3.7	t			
H型鋼	SN400B H-300*150*6.5*9	0.2	t			
H型鋼	SN400B H-294*200*8*12	1.1	t			
H型鋼	SN400B H-250*125*6*9	0.1	t			
H型鋼	SN400B H-244*175*7*11	1.1	t			
H型鋼	SS400 H-244*175*7*11	0.1	t			
H型鋼	SS400 H-200*100*5.5*8	0.3	t			
H型鋼	SS400 H-150*75*5*7	0.1	t			
等辺山形鋼	SS400 L-100*100*7	0.1	t			
等辺山形鋼	SS400 L-65*65*6	0.2	t			
水平ブレース	SNR400B M16 ターンバックル、羽子板共	1	式			
鋼板	PL-22 SN490C	0.1	t			
鋼板	PL-19 SN490C	0.4	t			
鋼板	PL-12 SN400B	0.1	t			
鋼板	PL-9 SN400B	0.6	t			
鋼板	PL-6 SN400B	0.1	t			
鋼板	PL-12 SS400	0.3	t			
鋼板	PL-9 SS400	0.1	t			
鋼板	PL-6 SS400	0.1	t			
トルシヤ形高力ボルト	HTB-M20 S10T L=60	566	組			

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

外構		外構		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
カッター入れ	アスファルト面 厚さ20～30mm	30.3	m			
アスファルト舗装撤去	集積共	38.5	m ²			
U側溝撤去	W=240 集積共	7.4	m			
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	31	m			
溝はつり	コンクリート面 W=300	3.2	m			
石綿含有成形板撤去	屋根 大波スレート 集積共	13.9	m ²			
アクリル板屋根撤去	集積共	10.5	m ²			
花壇CB 撤去	W6270×D800集積共	1	式			
水槽 撤去	W3000×D4020×H900 集積共	1	式			
下屋撤去	S造 10.4m ² 集積共	1	式			別紙 00-0043
鳥小屋撤去	S造 16m ² 集積共	1	式			別紙 00-0044
危険物庫撤去	S造 4.3m ² 集積共	1	式			別紙 00-0045
樹木撤去	集積共	1	式			別紙 00-0046
渡り廊下 水切り撤去	集積共	4.9	m			
<倉庫扉>						
カッター入れ	コンクリート面 厚さ20～30mm	7	m			
建具周囲はつり	RC 15cm 集積共	5.3	m			
鋼製建具撤去	W1650×H1850程度 集積共	1	か所			
計						

外構		外構		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
【その他】						
すきとり	積み込み共 H300程度	1.9	m ³			
根切り	小規模土工 -	5.6	m ³			
砂利地業	再生クラッシュラン	1	m ³			
埋戻し(B種)	小規模土工 発生土	7.5	m ³			
埋戻し(A種)	小規模土工 山砂の類	8.9	m ³			
溶接金網敷	径6.0 100×100	9.6	m ²			
コンクリート	Fc=24 SL-18	0.5	m ³			
コンクリート	Fc=21 SL-18	1.9	m ³			
コンクリート打設手間		1	式			
打放合板型枠	B種	3.5	m ²			
型枠運搬費		1	式			
打放し面補修	B 種 コーン処理無 部分目違いばらい	3.5	m ²			
防水モルタル塗り	金ごて モルタル仕上げ 厚15	0.5	m ²			
床コンクリート直均し 仕上げ	金ごて 直均し仕上げ	9.6	m ²			
アスファルト舗装	A-5-15 再生密粒 再生クラッシュラン 特に狭い場所 人力	25.5	m ²			
コンクリート舗装	歩道C-10-10(溶接金網共) 特に狭い場所 人力 路盤材共 再生クラッシュラン	1	m ²			
U形側溝	240 - 再生クラッシュラン	7.4	m			
既設U形側溝蓋一 時撤去復旧	W240 L=7400 集積共	1	式			
既設フェンス一時撤去 復旧	H1800 L=7200程度 独立基礎6個、集積共	1	式			

外構		外構		改修		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
物置6移設	固定金具共	1	式			
少量危険物保管庫	屋外仕様 W1915×H2709×D1800 鋼製ステップ（1坪用）、危険物標識、 消火器、消火器ボックス、固定金具共	1	か所			
（外部） （倉庫扉改修）						
建具周囲防水 モルタル充填	外部建具	7	m			
壁モルタル塗り	金ごて 内壁 厚20	0.7	m ²			
壁モルタル塗り	金ごて 外壁 厚25	0.7	m ²			
複層塗材 E	凹凸模様 吹付け 水系フッ つやあり 下塗1回・主材塗2回・ 上塗2回 下地調整(C-2)共	1.1	m ²			
SD-6	W1650×H1850 特定防火設備	1	か所			
運搬・取付費		1	式			
S O P 塗り	鉄鋼面 工程A種 塗料1種	5.6	m ²			
ガラス止めシーリング	シリコン 1成分形 SR-1 防火戸用	8	m			
網入磨き板ガラス	厚さ6.8 ひ し	0.5	m ²			
計						

[illegible]

[illegible]

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構					
科目名称	中科目名称	数量	単位	金額	備考
電灯設備	電灯幹線	1	式		
電灯設備	電灯分岐	1	式		
計					
動力設備	動力幹線	1	式		
動力設備	動力分岐	1	式		
計					
構内交換設備		1	式		
計					
拡声設備		1	式		
計					
誘導支援設備		1	式		
計					
火災報知設備	自動火災報知・自動閉鎖	1	式		
計					
構内配電線路		1	式		
計					

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 電灯設備				電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
波付硬質合成樹脂管(FEP)	(30)	14	m			
耐衝撃性硬質ビニル管(HIVE)	露出配管 28mm	4	m			
1種金属線び(MM1)	B型(40.4mm)	2	m			
1種金属線び(MM1)付属品		1	式			別紙 00-0048
EM-CEケーブル	3.5mm2- 3C FEP内(PF・CD)	14	m			
EM-CEケーブル	3.5mm2- 3C 管内	4	m			
EM-CEケーブル	3.5mm2- 3C ビット・天井	20	m			
フルボックス	200x200x200 SUSWP	1	個			
既設電灯分電盤改造	MCCB2P50/20×1 増設	1	式			
埋設標識シート	2倍長(W)150	14	m			
掘方埋戻し費		1	式			別紙 00-0049
仮設電源		1	式			別紙 00-0050
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0051
取外し再取付費		1	式			別紙 00-0052
撤去費		1	式			別紙 00-0053
計						

[illegible]

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 構内交換設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
耐衝撃性 硬質ビニル管 (HIVE)	露出配管 28mm	27	m			
ねじなし電線管 (E)	露出配管 25mm	5	m			
ねじなし電線管 (E)	露出配管 31mm	9	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	4	m			
1種金属線び (MM1)	A型 (25.4mm)	2	m			
1種金属線び (MM1) 附属品		1	式			別紙 00-0056
EM-TIEFケーブル	0.65mm-2C 管内	190	m			
EM-TIEFケーブル	0.65mm-2C ビット・天井	82	m			
EM-TIEFケーブル	0.65mm-2C FEP内 (PF・CD)	8	m			
ブルボックス	300x300x200 VE	3	個			
ブルボックス	300x300x200 SUSWP	4	個			
壁貫通処理		1	式			別紙 00-0057
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0058
計						

[illegible]

[illegible]

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 火災報知設備				自動火災報知・自動閉鎖		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管 (E)	露出配管 19mm	3	m			
合成樹脂製可とう 電線管 (PF単層)	隠ぺい・埋込配管 16mm	16	m			
耐衝撃性 硬質ビニル管 (HIVE)	露出配管 22mm	36	m			
1種金属線び(MM1)	A型 (25.4mm)	6	m			
1種金属線び(MM1) 附属品		1	式			別紙 00-0063
EM-AEケーブル	1.2mm ² 4C ビッド・天井	123	m			
EM-AEケーブル	1.2mm ² 4C 管内	38	m			
EM-AEケーブル	1.2mm ² 4C FEP内 (PF・CD)	8	m			
EM-HPケーブル	1.2mm ² 2C ビッド・天井	90	m			
EM-HPケーブル	1.2mm ² 2C 管内	39	m			
EM-HPケーブル	1.2mm ² 2C FEP内 (PF・CD)	8	m			
プルボックス	200x200x100 VE	1	個			
電磁リリース (自動閉鎖装置)	防火戸用 ラッチ式 埋込	6	個			
連動制御器	露出 1回線	5	台			
光電式煙感知器	3種 非蓄積型 露出	5	個			
消防立会検査費	申請費含む	1	式			別紙 00-0064
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0065
取外し再取付費		1	式			別紙 00-0066
撤去費		1	式			別紙 00-0067
計						

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 構内配電線路						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	(50)	15	m			
波付硬質合成樹脂管 (FEP)	(100)	15	m			
EM-CEケーブル	5.5mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	11	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 5C FEP内 (PF・CD)	11	m			
EM-CEEケーブル	2mm2- 12C FEP内 (PF・CD)	11	m			
EM-FP-Cケーブル	14mm2- 3C FEP内 (PF・CD)	11	m			
600V耐燃性ポリエチレン絶縁電線 (EM-IE) (PF管内)	5.5mm2	11	m			
ハンドホル	600x600x900 R8K-600	1	基			
埋設標識シート	2倍長 (W) 150	11	m			
地中埋設標	鉄製	2	個			
堀方埋戻し		1	式			別紙 00-0068
ケーブル接続費		1	式			別紙 00-0069
ケーブル引戻し再入線費		1	式			別紙 00-0070
撤去費		1	式			別紙 00-0071
計						

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

[illegible]

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

[illegible]

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

[illegible]

津市建設部営繕課

[illegible]

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 直接仮設						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0003
(外部)						
< 脚立足場 >						
外部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 塗装塗替え程度 既存塗膜の除去有り	43.8	m ²			
仮設材運搬 (外部仕上足場 脚立足場)	3階建	43.8	m ²			
(内部)						
< 脚立足場 >						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 塗装塗替え程度 既存塗膜の除去有り	1,649	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	3階建	1,649	m ²			
< 内部階段仕上足場 >						
内部階段仕上足場	掛払い手間	188	m ²			
内部階段仕上足場	供用30日賃料 修理費含む	188	m ²			
内部階段仕上足場	基本料 修理費含む	188	m ²			
仮設材運搬 (内部階段 仕上足場)		188	m ²			
計						

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 建具改修 撤去						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
アルミ製建具撤去		1	式			別紙 00-0006
KAW-41撤去	W7, 360×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAW-41`撤去	W7, 360×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAW-43撤去	W7, 360×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAW-43`撤去	W7, 360×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAW-42撤去	W4, 920×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAW-51撤去	W4, 920×H1, 995程度 集積共	1	か所			
KAD-21撤去	W680×H1, 830程度 集積共	1	か所			
KAD-25撤去	W710×H1, 830程度 集積共	1	か所			
計						
木製建具撤去		1	式			別紙 00-0007
KWB-5撤去	W600×H1, 620程度 集積共	1	か所			
KWB-18撤去	W800×H1, 800程度 集積共	1	か所			
KWB-23撤去	W600×H1, 650程度 集積共	1	か所			
KWB-27撤去	W600×H1, 720程度 集積共	1	か所			
計						

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 内装改修 改修						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
備品類取外し再取付		1	式			別紙 00-0008
黒板 一時撤去再取付	W3090×H2050	2	か所			
行事黒板 一時撤去再取付	W1000×H1500	1	か所			
行事黒板 一時撤去再取付	W900×H600	1	か所			
学校案内板 一時撤去再取付	W3550×H2040	1	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W4590×H2050	2	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W3400×H900	1	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W1900×H900	1	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W1200×H900	1	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W1800×H1410	1	か所			
掲示板 一時撤去再取付	W1760×H900	2	か所			
アコーデオンカーテン 一時撤去再取付	W2000×H2500	1	か所			
タブレット充電BOX 一時撤去再取付	W900×D450×H1200	8	か所			
タブレット充電BOX 一時撤去再取付	W450×D450×H1200	2	か所			
家具（下足入れ） 一時撤去再取付	W2115×D350×H1590	2	か所			
家具（下足入れ） 一時撤去再取付	W980×D320×H1590	4	か所			
掃除入れ 一時撤去再取付	W450×D520×H1800	2	か所			
スチール棚 一時撤去再取付	W900×D400×H1000	1	か所			
スチール棚 一時撤去再取付	W900×D530×H1800	1	か所			
その他備品 一時撤去再取付	W600×D350×H950	1	か所			

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 発生材処分						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬	積込共(外構、設備撤去分を含む)	1	式			別紙 00-0010
発生材積込み	コンクリート類 人力	8.5	m3			
発生材積込み	アスファルト類 人力	1.4	m3			
発生材積込み	木材類 人力	1.1	m3			
発生材積込み	ガラス類 人力	0.3	m3			
発生材積込み	廃プラスチック類 人力	8.8	m3			
石綿含有材 積込み	廃プラスチック類 人力 As防水	7.9	m3			
石綿含有材 積込み	吹付材 人力	1.3	m3			
発生材積込み	金属くず 人力	0.3	m3			
発生材運搬	コンクリート類	8.5	m3			
発生材運搬	アスファルト類	1.4	m3			
発生材運搬	木材類	1.1	m3			
発生材運搬	ガラス類	0.3	m3			
発生材運搬	廃プラスチック類	8.8	m3			
発生材運搬 (石綿含有材)	廃プラスチック類 As防水	7.9	m3			
発生材運搬 (石綿含有材)	がれき類	1.3	m3			
発生材運搬	金属くず	0.3	m3			
発生材運搬	スクラップ 控除 積込み共	0.3	m3			
計						

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 発生材処分						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材処分	処分費(外構、設備撤去分を含む)	1	式			別紙 00-0011
コンクリート類		3.4	m3			
アスファルト類		1.4	m3			
木材類		0.1	m3			
ガラス類		0.7	t			
廃プラスチック類		3.1	t			
廃プラスチック類	石綿含有	7.8	t			
がれき類	石綿含有	0.4	t			
金属くず		0.7	t			
スクラップ 控除	金属くず H3	2.5	t			
スクラップ 控除	アルミ	0.1	t			
計						

普通教室棟B 改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
墨出し		1	式			別紙 00-0012
墨出し(内部改修)	複合改修	36.6	m ²			
計						
内部足場		1	式			別紙 00-0013
<内部仕上足場>						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 一般 -	13.9	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	13.9	m ²			
計						
外部足場		1	式			別紙 00-0014
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 22m未満 - -	94.6	m ²			
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用30日賃料 修理費含む 22m未満 - -	94.6	m ²			
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 22m未満 - -	94.6	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手摺先行据置型)	建枠幅900(二枚布)	94.6	m ²			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 掛払い手間 -	6.5	m			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 供用30日賃料 修理費含む -	6.5	m			
安全手すり (手すり先行方式)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	6.5	m			
仮設材運搬 (手摺先行据置型)	枠組本足場用(手すり先行方式)	6.5	m			
計						

普通教室棟B 改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
垂直養生		1	式			別紙 00-0015
防音シート張り	掛払い手間 -	94.6	m ²			
防音シート張り	供用30日賃料 修理費含む -	94.6	m ²			
防音シート張り	基本料 修理費含む -	94.6	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		94.6	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0016
養生(外壁改修)		13	m ²			
養生(内部改修)	複合改修	84.6	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0017
整理清掃後片付け (外壁改修)		13	m ²			
整理清掃後片付け (内部改修)	複合改修	84.6	m ²			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟B 改修 発生材処分						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬	積込共(設備撤去分を含む)	1	式			別紙 00-0023
発生材積込み	コンクリート類 人力	2	m3			
石綿含有建材 積込み	吹付材 人力	0.2	m3			
発生材積込み	木材類 人力	1.8	m3			
発生材積込み	ガラスくず類 人力	0.1	m3			
石綿含有材 積込み	廃プラスチック類 人力	0.1	m3			
石綿含有材 積込み	ボード類 人力	0.1	m3			
発生材運搬	コンクリート類	2	m3			
発生材運搬 (石綿含有材)	がれき類	0.2	m3			
発生材運搬	木材類	1.8	m3			
発生材運搬	ガラスくず類	0.1	m3			
発生材運搬 (石綿含有材)	廃プラスチック類	0.1	m3			
発生材運搬 (石綿含有材)	ボード類	0.1	m3			
発生材運搬	スクラップ 控除 積込み共	0.3	m3			
計						

津市建設部営繕課

特別教室棟 改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
外部足場		1	式			別紙 00-0025
< 枠組本足場 >						
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 掛払い手間 12m未満 - -	170	m ²			
枠組本足場 (手摺先行据置型)	建枠 900×1700 布枠500+240 供用30日賃料 修理費含む 12m未満 -	170	m ²			
枠組本足場 (手すり先行方式)	建枠 900×1700 布枠500+240 基本料 修理費含む 12m未満 - -	170	m ²			
仮設材運搬 (枠組本足場) (手摺先行据置型)	建枠幅900(二枚布)	170	m ²			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 掛払い手間 -	16	m			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 供用30日賃料 修理費含む -	16	m			
安全手すり (手摺先行据置型)	枠組本足場用 基本料 修理費含む -	16	m			
仮設材運搬 (手摺先行据置型)	枠組本足場用(手すり先行方式)	16	m			
計						
垂直養生		1	式			別紙 00-0026
メッシュシート張り	防炎性能 JIS A 8952 I 類 掛払い手間 - -	170	m ²			
メッシュシート張り	防炎 I 類 供用30日賃料 修理費含む -	170	m ²			
メッシュシート張り	防炎性能 JIS A 8952 I 類 基本料 修理費含む - -	170	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		170	m ²			
計						

特別教室棟 改修		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0027
<脚立足場>						
内部仕上足場 (改修)	階高4.0m以下 脚立足場 塗装塗替え程度 既存塗膜の除去有り	10.2	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	3階建	10.2	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0028
養生(内部改修)	個別改修	10.2	m ²			
養生 (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	391	m ²			
養生(外壁改修)		32	m ²			
計						
整理清掃後片付け		1	式			別紙 00-0029
整理清掃後片付け (内部改修)	個別改修	10.2	m ²			
整理清掃後片付け (屋上防水改修)	露出防水・簡易防水(塗膜・シート)	391	m ²			
整理清掃後片付け (外壁改修)		32	m ²			
計						

津市建設部営繕課

特別教室棟 改修		発生材処分				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬	積込共	1	式			別紙 00-0031
発生材積込み	コンクリート類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	ガラス類 人力	0.1	m3			
発生材積込み	廃プラスチック類 人力	10.1	m3			
発生材運搬	コンクリート類	0.1	m3			
発生材運搬	ガラス類	0.1	m3			
発生材運搬	廃プラスチック類	10.1	m3			
発生材運搬	スクラップ 控除 積込み共	1	式			
計						
発生材処分	処分費	1	式			別紙 00-0032
コンクリート類		0.1	m3			
ガラス類		0.1	t			
廃プラスチック類		1	t			
スクラップ 控除	アルミ 込みガラ	1	式			
計						

昇降機棟 増築		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
遣方		1	式			別紙 00-0033
遣方	小規模	14.1	m ²			
計						
墨出し		1	式			別紙 00-0034
墨出し	小規模 S造 地上階	24.2	m ²			
墨出し	小規模 S造 吹き抜け(その他)	23.4	m ²			
墨出し	小規模 RC・SRC造 ピット	7.8	m ²			
計						
地足場		1	式			別紙 00-0035
地足場	掛払い手間	14.1	m ²			
地足場	供用30日賃料 修理費含む	14.1	m ²			
地足場	基本料 修理費含む	14.1	m ²			
仮設材運搬 (地足場)		14.1	m ²			
計						

津市建設部営繕課

昇降機棟 増築		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
内部足場		1	式			別紙 00-0037
<内部仕上足場>						
内部仕上足場	掛払い手間 脚立足場 階高4.0m以下 -	24.8	m ²			
内部仕上足場	供用60日賃料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 -	24.8	m ²			
内部仕上足場	基本料 修理費含む 脚立足場 階高4.0m以下 転用数 3	24.8	m ²			
仮設材運搬 (内部仕上足場 脚立足場)	4階建	24.8	m ²			
<シャフト内足場>						
シャフト内足場	掛払い手間	26	m ²			
シャフト内足場	供用30日賃料 修理費含む	26	m ²			
シャフト内足場	基本料 修理費含む	26	m ²			
仮設材運搬 (シャフト内足場)		26	m ²			
<安全手摺>						
安全手すり	単管本足場用 掛払い手間 -	24.6	m			
安全手すり	単管本足場用 供用30日賃料 修理費含む -	24.6	m			
安全手すり	単管本足場用 基本料 修理費含む -	24.6	m			
仮設材運搬 (安全てすり)	単管本足場用	24.6	m			
計						

昇降機棟 増築		直接仮設				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
垂直養生		1	式			別紙 00-0038
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 掛払い手間 -	239	m ²			
メッシュシート張り	防災 I 類 供用90日 賃料 修理費含む -	239	m ²			
メッシュシート張り	防災性能 JIS A 8952 I 類 基本料 修理費含む -	239	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		239	m ²			
計						
水平養生		1	式			別紙 00-0039
安全ネット張り (水平張り)	防災ボ リエステル 掛払い手間	55.4	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ボ リエステル 供用30日 賃料 修理費含む	55.4	m ²			
安全ネット張り (水平張り)	防災ボ リエステル 基本料 修理費含む	55.4	m ²			
仮設材運搬 (シート・ネット類)		55.4	m ²			
計						
養生		1	式			別紙 00-0040
養生	小規模 S造 地上階	24.2	m ²			
養生	小規模 S造 吹き抜け(その他)	23.4	m ²			
養生	小規模 RC・SRC造 ピ ット	7.8	m ²			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

外構		外構		撤去		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
下屋撤去	S造 10.4㎡ 集積共	1	式			別紙 00-0043
建物上屋解体	鉄骨造 集積共	10.4	㎡			
計						
鳥小屋撤去	S造 16㎡ 集積共	1	式			別紙 00-0044
建物上屋解体	鉄骨造 集積共	16	㎡			
建物基礎解体	鉄骨造 集積共	2	m3			
計						
危険物庫撤去	S造 4.3㎡ 集積共	1	式			別紙 00-0045
建物上屋解体	鉄骨造 集積共	4.3	㎡			
計						
樹木撤去	集積共	1	式			別紙 00-0046
花壇植栽撤去	伐採伐根	8.3	㎡			
枝払い (足場設置範囲)	集積共	14.2	m2			
計						

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 電灯設備				電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1種金属線び(MM1) 付属品		1	式			別紙 00-0048
1種金属線び(MM1) 付属品	B型(40.4mm) コーナボックス	1	個			
1種金属線び(MM1) 付属品	B型(40.4mm) シェンクシオンボックス	1	個			
計						
掘方埋戻し費		1	式			別紙 00-0049
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	2.6	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	2.6	m3			
計						
仮設電源		1	式			別紙 00-0050
EM-CEケーブル	3.5mm2- 3C ビット・天井	10	m			
600Vポリエチレン絶縁 耐燃性ポリエチレンシース ケーブル平形 EM-EEF	2.0mm- 3C ビット・天井	85	m			
仮設照明		3	台			
仮設分電盤		1	面			
撤去費		1	式			別紙 00-0050/00-001
計						

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 電灯設備				電灯分岐		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
撤去費		1	式			別紙 00-0050/00-001
600V絶縁電線 撤去	3.5mm ² × 1本 再使用しない	30	m			
600V絶縁ケーブル 撤去	2.0mm ² 3C ビット・天井 再使用しない	85	m			
蛍光灯器具 撤去	露出形 FL 10W ×1 再使用しない	3	個			
仮設分電盤		1	面			
計						
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0051
金属短管貫通処理 (壁・床共用)	(31)	1	か所			
計						
取外し再取付費		1	式			別紙 00-0052
照明器具 取外し再取付	富士型 FL40Wx1	7	個			
誘導灯 取外し再取付		2	個			
計						
撤去費		1	式			別紙 00-0053
蛍光灯器具 撤去	埋込形 FL 10W ×1 再使用しない	1	個			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 構内交換設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1種金属線び(MM1) 附属品		1	式			別紙 00-0056
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナーボックス	1	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) シェンクッションボックス	1	個			
計						
壁貫通処理		1	式			別紙 00-0057
機械はつり(パイ ントカッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 100mm	2	か所			
計						
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0058
金属短管貫通処理 (壁・床共用)	(31)	2	か所			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 火災報知設備				自動火災報知・自動閉鎖		
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
1種金属線び(MM1) 附属品		1	式			別紙 00-0063
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) コーナボックス	5	個			
1種金属線び(MM1) 附属品	A型(25.4mm) ジェクションボックス	1	個			
計						
消防立会検査費	申請費含む	1	式			別紙 00-0064
火災報知 立会検査	P型1級	1	1 工事			
計						
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0065
金属短管貫通処理 (壁・床共用)	(25)	2	か所			
計						
取外し再取付費		1	式			別紙 00-0066
感知器 取外し再取付	定温式ホット型熱感知器 1種 防水	1	個			
感知器 取外し再取付	光電式煙感知器 2種	1	個			
計						

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通教室棟B・普通特別教室棟改修・外構 構内配電線路						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
掘方埋戻し		1	式			別紙 00-0068
根切り(機械)	バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	2.64	m3			
埋戻し	機 械 バックホウ 0.13m3 排出ガス対策型 油圧式クローラ型	2.64	m3			
計						
ケーブル接続費		1	式			別紙 00-0069
ケーブル接続	EM-CE5.5° -3C	2	か所			
ケーブル接続	EM-FP14° -3C	2	か所			
ケーブル接続	EM-CEE2° -5C	2	か所			
ケーブル接続	EM-CEE2° -12C	2	か所			
計						
ケーブル 引戻し再入線費		1	式			別紙 00-0070
ケーブル 引戻し再入線	IV5.5°	16	m			
ケーブル 引戻し再入線	CV5.5° -3C	16	m			
ケーブル 引戻し再入線	FP14° -3C	16	m			
ケーブル 引戻し再入線	CVV2° -5C	16	m			
ケーブル 引戻し再入線	CVV2° -12C	16	m			
計						

津市建設部営繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 空調設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管支持ブロック 取外し再取付費		1	式			別紙 00-0074
配管支持ブロック 取外し再取付費		9	組			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0075
冷媒管 保温	ポリスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 100A	15	m			
計						
防火区画貫通処理		1	式			別紙 00-0076
防火区画貫通処理	金属管用 (31)	3	か所			
計						
既設配管切断接続 費		1	式			別紙 00-0077
配管切断接続 (鋼管類)	φ 6.4	1	か所			
配管切断接続 (鋼管類)	φ 9.5	1	か所			
配管切断接続 (鋼管類)	φ 12.7	1	か所			
配管切断接続 (鋼管類)	φ 15.9	1	か所			
配管切断接続 (樹脂管類)	25A	1	か所			
計						

津市建設部營繕課

普通教室棟A・普通特別教室棟 改修 給水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
保温工事		1	式			別紙 00-0080
給水管 保温	ボ リスチレン 屋内露出 ステンレス鋼板 25A	23	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 25A	46	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 32A	56	m			
給水管 保温	ボ リスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 100A	36	m			
計						
配管架台	溶融亜鉛メッキ製 既成コンクリート基礎共	1	式			別紙 00-0081
門型ブラケット	溶融亜鉛メッキ製 L=500 既成コンクリート基礎共	90	組			
計						
既設配管切断接続 費		1	式			別紙 00-0082
配管切断接続 (鋼管類)	25A	14	か所			
計						

津市建設部營繕課

津市建設部營繕課

普通教室棟B 改修		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
横水栓 取外し再取付費		1	式			別紙 00-0087
横水栓再取付	13A	20	個			
横水栓取外し	13A	20	個			
計						
保温工事		1	式			別紙 00-0088
給水管 保温	ポリスチレン 屋内露出 ステンレス鋼板 25A	8	m			
給水管 保温	ポリスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 25A	3	m			
給水管 保温	ポリスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 32A	32	m			
給水管 保温	ポリスチレン 屋外露出, 浴室 ステンレス鋼板 100A	7	m			
計						
配管架台	溶融亜鉛メッキ製 既成コンクリート基礎共	1	式			別紙 00-0089
三角ブラケット	450×450 溶融亜鉛メッキ	4	個			
門型ブラケット	溶融亜鉛メッキ製 L=500 既成コンクリート基礎共	11	組			
計						
はつり及び補修		1	式			別紙 00-0090
機械はつり(パイ ントカッターによる 配管用貫通口)	200mm程度 50mm	2	か所			
計						

普通教室棟B 改修		給水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既設配管切断接続費		1	式			別紙 00-0091
配管切断接続 (鋼管類)	32A	2	か所			
配管切断接続 (鋼管類)	100A	2	か所			
ﾌﾟﾗｸﾞ 止め	32A	1	か所			
計						
既設撤去費		1	式			別紙 00-0092
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 25A	20	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 32A	35	m			
給水・塩ビ ライニング鋼管 (SGP-VB) 撤去	ねじ接合 屋内一般 100A	7	m			
計						

普通教室棟B 改修		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
配管架台	溶融亜鉛メッキ製	1	式			別紙 00-0093
三角ブラケット	450×450 溶融亜鉛メッキ	3	個			
計						
はつり及び補修		1	式			別紙 00-0094
機械はつり(ダイヤモンドカッターによる配管用貫通口)	200mm程度 75mm	1	か所			
計						
塗装工事		1	式			別紙 00-0095
配管用炭素鋼鋼管(白管)塗装	露 出 50A	30	m			
計						
既設配管切断接続費		1	式			別紙 00-0096
配管切断接続(樹脂管類)	50A	2	か所			
計						
既設撤去費		1	式			別紙 00-0097
排水・配管用炭素鋼鋼管(白)撤去	ねじ接合 屋内一般 50A	47	m			
計						

津市建設部営繕課

津市建設部営繕課

外構		排水設備				
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
既設配管切断接続費		1	式			別紙 00-0102
配管切断接続 (樹脂管類)	75A	2	か所			
配管切断接続 (樹脂管類)	100A	1	か所			
キャップ 止め	20A	1	か所			
計						
既設側溝接続費		1	式			別紙 00-0103
手はつり (配管貫通口)	無筋コンクリート 200mm程度 200mm	1	か所			
計						
既設フェンス取外し再 取付費		1	式			別紙 00-0104
既設フェンス取外し再 取付費	H=1800	4	m			
既設門扉取外し再 取付費	H=1800 W=1000	1	組			
計						

外構 排水設備						
名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
掘方埋戻し		1	式			別紙 00-0105
根切り(人力)		1.7	m3			
埋戻し	人 力 根切り土 -	0.5	m3			
山砂		1.2	m3			
建設発生土運搬	ダンプトラック 2t積級 バックホ0.13m3 土砂 DID区間有り 24.0km以下	1.2	m3			
計						
既設撤去費		1	式			別紙 00-0106
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)撤去	地中配管 75A	5	m			
排水・硬質ポリ塩化ビニル管(VP)撤去	地中配管 100A	2	m			
①コンクリート製汚水桝撤去	φ400 H350	1	組			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
ガードフェンス	H=1.8m 直付け、運搬費共	1	式			別紙 00-0107
ガードフェンス	H=1.8m 単管パイプ下地、運搬費共	1	式			別紙 00-0108
キャスターゲート	W6000×H1800 供用180日 賃料 損料・運搬費共	1	か所			
キャスターゲート	W3000×H1800 供用120日 賃料 損料・運搬費共	1	か所			
コーン、バナー	ウェイト共 供用30日 賃料	1	式			別紙 00-0109
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0110
ゴムマット敷	2,000×1,000 t20 4枚、45日	1	式			
職員用仮設便所	小1・大1 大2	1	式			
敷きならし	500㎡未満	948	㎡			
交通誘導員B		190	日			
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	4.9t吊り オペレータ付き 賃料 標準	5	日			
ラフテレンクレーン運転 (油圧伸縮ジブ型)	16t吊り オペレータ付き 賃料 標準	20	日			
室内空気汚染物質 測定	パッシブ法 報告書作成共	1	式			
アスベスト粉塵濃度測 定費	作業前、作業中、作業後	1	式			
高所作業車	作業高さ12m 標準デッキタイプ	3	日			
架空線措置	防護管	1	式			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
カートフェンス	H=1.8m 直付け、運搬費共	1	式			別紙 00-0107
カートフェンス	H=1.8m 柱脚固定具共 掛払い手間	245	m			
カートフェンス	供用30日賃料 修理費含む H=1.8m	16	m			
カートフェンス	供用60日賃料 修理費含む H=1.8m	80.6	m			
カートフェンス	供用120日賃料 修理費含む H=1.8m	148	m			
カートフェンス	基本料 修理費含む H=1.8m	245	m			
仮設材運搬 (カートフェンス)		245	m			
計						
カートフェンス	H=1.8m 単管パイプ下地、運搬費共	1	式			別紙 00-0108
カートフェンス	H=1.8m、掛払い手間 単管パイプ下地共	234	m			
カートフェンス	H=1.8m、掛払い手間 (移設時) 単管パイプ下地共	60.8	m			
カートフェンス	供用180日賃料 修理費含む H=1.8m、単管パイプ下地共	169	m			
カートフェンス	供用120日賃料 修理費含む H=1.8m、単管パイプ下地共	65.2	m			
カートフェンス	基本料 修理費含む H=1.8m、単管パイプ下地共	234	m			
仮設材運搬 (カートフェンス)		234	m			
計						

名 称	摘 要	数 量	単位	単 価	金 額	備 考
コン、ハーフ	ウェイト共 供用30日 賃料	1	式			別紙 00-0109
カラーコン	基本料	28	個			
カラーコン	共用30日 賃料	28	個			
コンウェイト	基本料	28	個			
コンウェイト	共用30日 賃料	28	個			
コンハーフ	基本料	27	本			
コンハーフ	共用30日 賃料	27	本			
計						
仮設鉄板敷		1	式			別紙 00-0110
仮設鉄板敷	設置費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	948	m ²			
仮設鉄板敷	設置費 敷鉄板 (移設時) 1524×6096×22mm -	167	m ²			
仮設鉄板敷	撤去費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	948	m ²			
仮設鉄板敷	供用180日 賃料 敷鉄板 1524×6096×22mm	662	m ²			
仮設鉄板敷	供用60日 賃料 敷鉄板 1524×6096×22mm	286	m ²			
仮設鉄板敷	整備費 敷鉄板 1524×6096×22mm -	948	m ²			
仮設敷鉄板運搬		948	m ²			
計						

特 記 仕 様 書

【積算基準適用に関する事項】

本事項は、入札参加者の適切な見積に資するため、発注者が用いた積算資料を参考として提示するものです。

- ・公共建築工事積算基準（平成28年12月20日 国営積第18号）
- ・公共建築工事共通費積算基準（令和6年3月25日 国営積第11号）
- ・共通仮設費率及び現場管理費率の算定に用いるT（工期）は、8か月とする。

【部分下請負通知書に関する事項】

受注者は、工事の一部分について下請負させる場合は、部分下請負通知書を監督員に速やかに提出すること。なお、下請負業者（再下請負業者を含む）との契約書等の写し、下請負業者（再下請負業者を含む）の建設業の許可の写しを添付すること。

【現場の管理に関する事項】

受注者は、監理技術者、主任技術者（下請負を含む）及び元請負の専門技術者（専任している場合のみ）に、工事現場内において、氏名、工事名、工期、顔写真、所属会社名及び社印の入った名札を着用させること。

なお、作業者についても受注者名が分かるよう配慮すること。

（名札の例は、「三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月制定）第1編 共通編」を参照）

【安全対策に関する事項】

受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。

工事期間中の運搬車両及び重機等による騒音振動等については、周辺地域に及ぼす影響を最小限に食い止めると共に安全対策を講じること。また、施工に伴う公衆災害及び労働災害の防止に努めること。

なお、工事の施工中は出入口等に、誘導員を配置して事故防止に努めること。

【墜落制止用器具着用に関する事項】

本工事は、墜落制止用器具着用を要件とし、安全対策に努めること。

【前払い金に関する事項】

請負代金の額が130万円以上の契約において、受注者が公共工事の前払金保証事業に関する法律に規定する保証事業会社の保証を明示した場合で、市が必要と認めたときは、請負代金額の10分の4以内で、かつ当該支出予算の範囲内で前払いをするものとする。

【三重県産業廃棄物税に関する事項】

本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払い請求を行うこと。

なお、この期間を越えて請求することはできない。また、設計数量を越えて請求することはできない。

【工事实績情報の登録に関する事項】

受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、工事实績情報システム（コリンズ）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事实績情報として「登録のための確認のお願い」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内

内に、完成時は工事完成後土曜日、日曜日、祝日等を除き10日以内に、訂正時は適宜登録機関に登録申請をしなければならない。

また、（一財）日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、その写しを直ちに監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が土曜日、日曜日、祝日等を除き10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

【火災保険等に関する事項】

津市工事請負契約約款第58条に定める火災保険等を次の条件により付し、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

- | | | | |
|---|------|----------|-------------|
| 1 | 保険期間 | 開始日 | 工事着手日 |
| | | 終了日 | 工期に15日を加えた日 |
| 2 | 保険金額 | 請負代金額相当額 | |

【法定外の労災保険の付保】

受注者は、本工事に従事する者の業務上の負傷等に対する補償に必要な金額を担保するための保険契約（法定外の労災保険）に付さなければならない。また、津市工事請負契約約款第58条第3項の定めにより、その証書又はこれに代わるものを遅滞なく発注者に提示すること。

【現場パトロールに関する事項】

当工事は、公共工事の品質確保の促進を図るものとして、検査課において施工状況の確認等の現場パトロールを行うことがある。

【石綿撤去に関する法令等】

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」「労働安全衛生法」「大気汚染防止法」等を遵守すること。

「石綿障害予防規則」に基づく石綿作業主任者を選任し管理すること。

【施工体制台帳】

受注者は、工事を施工するために下請負契約を締結した場合には、下請負金額に関わらず施工体制台帳を作成し、工事現場に備えるとともに、その写しを監督員に提出すること。

【社会保険等未加入対策】

適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書・作業員名簿により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

【法定福利費の負担】

法定福利費は事業主が負担しなければならない社会保険料であり、元請負人及び下請負人は見積時に法定福利費を必要経費として適正に確保する必要があります。元請負人は標準見積書の活用等による法定福利費相当額を内訳明示した見積書の提出を下請負人に働きかけること。また、二次下請以降についても同様に標準見積書の活用を努めること。

【完成報告書】

工事完成報告書の提出部数は2部とする。

【木材の調達目標】

本工事における木材の使用に当たっては、原則として地域産材（注1）を優先し、調達できない場合は県産材（注2）を使用するものとする。

なお、県産材については「三重の木」認証材を優先して使用するものとする。

- 注1 「地域産材」とは、津市内の森林から産出された木材で製材業者、津地区木材共同組合、津西部木材流通共同組合及び美杉木材共同組合の産地証明のあるものをいう。
また、集成材にあっても、構成する材は「地域産材」を優先使用したものであることとする。
- 注2 「県産材」とは、三重県内の森林から産出された木材とし、「三重の木」とは、三重県産の丸太を使用し、一定の基準に適合することを「三重の木」利用推進協議会により認証された木材製品をいう。

【鋼材及び建築設備等の調達に関する事項】

受注者の責めに帰すことができない社会情勢等による影響を起因とした事情により、最大限の努力をもってしても、鋼材（高力ボルト等の二次製品を含む。）及び建築設備等の調達に期間を要する場合は、受注者からの申出により工期延長の協議の対象とする。

【設計変更に関する事項】

設計変更を行う際には、津市設計変更ガイドライン（平成31年3月）を参考とする。

（津市HP「仕事・産業－入札・契約－工事・建設コンサルタント関係－調達契約課からのお知らせ（工事・コンサル）」を参照）

【建設発生土に関する事項】

処分地未定につき相互協議すること。（暫定運搬距離4km）

受注者は、建設発生土を民有地へ処分する場合は土地所有者から「建設発生土受入承諾書」を得たうえで監督員に報告すること。なお、建設発生土を搬出する場合は「建設発生土搬出伝票」を発行し、搬出先、搬出土量等を把握すること。

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
暴力団等の不当介入の排除等	本市が締結する契約等からの暴力団、暴力団関係者、暴力団関係法人等（以下「暴力団等」という。）の不当介入を排除し、契約等の適正な履行を確保することに関し、必要な事項を定める。 なお、下記の内容における用語は、津市の締結する契約等からの暴力団等排除措置要綱（平成27年津市訓第76号）において使用する用語の例による。 1 受注者等の義務 (1) 本市の契約等の相手方及び下請負人等（以下「受注者等」という。）は、暴力団等と認められる下請負人等を使用してはならない。 (2) 受注者等は、暴力団等と認められる資材販売業者から資材等を購入してはならない。 (3) 受注者等は、暴力団等と認められる廃棄物処理業者が有する廃棄物処理施設及び廃棄物処理業者等を使用してはならない。 (4) 受注者は、本市と締結した契約等の履行に当たり、受注者等が暴力団等による不当介入を受けたときは、断固としてこれを拒否し、直ちに本市に文書にて報告するとともに所轄の警察署に通報し捜査上必要な協力をするものとする。この場合において、捜査上必要な協力を行ったとき、受注者は速やかに本市に文書にてその内容を報告しなければならない。 なお、受注者等が不当介入を受けたことを理由に契約期間の延長等の措置が必要となったとき、受注者は本市に契約期間の延長等を求めることができる。 2 入札参加資格者等及び受注者等に対する措置 入札参加資格者等又はその役員等が暴力団等と認められるとき、暴力団等と密接な関係を有していると認められるときなどは、当該入札参加資格者等に対し、津市建設工事等指名停止基準（平成21年4月8日施行）に基づく指名停止措置を講じるものとする。 また、上記1の義務に違反した受注者等に対しても、同様に指名停止措置を講じるものとする。 3 契約等の解除 上記の暴力団等と認められるときなどにより指名停止措置が講じられた入札参加資格者等との契約等については、これを解除することができる。
配慮依頼事項	本契約を履行するにあたって、下記のことについて御配慮願います。 なお、本事項は、受注者の自由な協力をお願いするものであり、受注者が下記の内容に応じなかった場合に、受注者に対して、不利益を課すものではありません。 1 下請契約又は再委託（一次下請以降のすべての下請負人又は再委託者を含む。）が認められた契約にあっては、下請契約又は再委託等において市内本店事業者を活用すること。 2 資材、原材料等の調達が必要となる場合は、市内本店事業者から調達すること及び地元製品、地元生産品を使用すること。 3 建設機械、機器等の借入れが必要となる場合は、市内本店事業者から借入れすること。 4 業務従事者等の使用人等が必要となる場合は、使用人等に市民を活用すること。
津市公契約条例	本市が締結する公契約において、労働者の労働環境の確保、優良な事業者の育成及び地域経済の健全な発展を図ることに関し、必要な事項を定める。 なお、下記の内容における用語は、津市公契約条例（津市条例第22号）（以下「条例」という。）において使用する用語の例による。 1 受注者等の責務 (1) 関係法令及び条例の規定を遵守しなければならない。 (2) 受注者等は、労働者の適正な労働環境の確保に努めなければならない。 (3) 受注者等は、労働者と対等な労使関係を構築するとともに、下請契約等を締結しようとするときは、下請契約等の相手方と対等な立場における合意に基づいた適正な契約を行わなければならない。 (4) 受注者等は、下請契約等の相手方を選定するとき、又は資材等を調達するときは、地域経済の発展に配慮し、本市の区域内に主たる事務所を有する事業者又は本市の区域内で生産された資材等を活用するよう努めなければならない。 (5) 受注者等は、公契約に携わる者として、社会的な責任を自覚し、公契約を適正に履行しなければならない。 (6) 受注者等は、条例第7条第1項の規定に基づき市長又は上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）が行う報告の求め及び立入検査その他本市が実施する公契約に関する施策に協力しなければならない。 2 公契約の解除等 市長等は、受注者等が次の各号のいずれかに該当するときは、当該公契約の解除、受注者等の指名停止等必要な措置を採ることができる。 (1) 条例第7条第1項の規定による報告を怠り、若しくは虚偽の報告をし、又は同項の規定による立入検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して応答せず、若しくは虚偽の回答をしたとき。 (2) 条例第8条第1項の規定による命令に従わないとき。 (3) 条例第8条第2項の規定による報告を怠り、又は虚偽の報告をしたとき。 (4) (1)から(3)に掲げるもののほか、条例の規定に違反したとき。 (5) 特定公契約にあっては、「労働環境の確保に係る誓約事項」に違反したとき。

特記仕様書

特記事項	条件等及び内容
労働環境の確保に係る誓約事項	津市公契約条例（以下「条例」という。）第6条の規定により、下記事項について了承し、遵守することを誓約します。 また、誓約内容に違反があった場合等における関係機関への通報、指名停止、契約解除及び違約金徴収について異議はありません。 1 津市公契約条例施行規則第8条に掲げる関係法令（次項において単に「関係法令」という。）を遵守すること。 2 関係法令に違反し、関係機関から是正勧告等があった場合は、津市長又は津市上下水道事業管理者（以下「市長等」という。）へ報告すること。 3 条例第7条第1項の規定による報告の求め及び立入検査に対し、誠実に対応すること。 4 労働者が条例第9条第1項の規定による申出をしたことを理由に、当該労働者に対し、解雇その他の不利益な取扱いをしないこと。 5 労働者に対し、条例の内容について周知を行うこと。 6 労働者の賃金水準の引上げに関する措置が講じられる場合は、下請契約等の請負契約金額の見直し、労働者の賃金の引上げ等について適切に対応すること。 7 市長等が行う施策に協力すること。 8 労働報酬下限額の運用について (1) 受注者は、運用対象契約（以下「対象契約」という。）の受注関係者（下請業者等）及び労働者（以下「対象労働者」という。）に、当該運用について周知を徹底するとともに、労働状況台帳を津市へ提出することについて、同意を得ること。 (2) 対象契約について、受注関係者から労働環境の確保に係る誓約書を提出させること。 (3) 対象労働者には労働報酬下限額以上の賃金を支払うこと。 (4) 津市が指定する期日までに対象契約に係る労働状況台帳を提出すること。 (5) 津市が行うアンケート調査について協力すること。 (6) 受注者は、受注関係者の労働環境の確保に係る誓約書、労働状況台帳及びアンケート調査を取りまとめ、津市が指定する期日までに提出すること。 (7) (1)から(6)に掲げるもののほか、その他労働報酬下限額の運用に関して行う事務は、津市公契約条例労働報酬下限額運用マニュアルに基づき、適切に履行すること。 (8) 労働報酬下限額の運用に関する津市からの案内、通知及び指導には、誠実に対応すること。

令和 7 年度津市労働報酬下限額

労働報酬下限額	1 , 1 3 7 円
---------	-------------

津市工事請負の地元調整に関する特記仕様書

1 趣旨

津市工事請負に係る地元調整については、三重県公共工事共通仕様書（以下「共仕」という。）の「受注者は、工事の施工にあたり、地域住民との間に紛争が生じないように努めなければならない」及び特記仕様書の「受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること」と記載されている。

しかしながら、地元代表者に着工同意権があるように誤った解釈がされ、工事実施に支障をきたす事例が発生した。

このことから、本特記仕様書において、工事説明の進め方や不当要求行為等への対応について、必要な事項を定めるものである。

2 発注者及び受注者の責務

- (1) 工事発注に係る工事の必要性、設計図書における工事目的物の仕様及び施工条件などに係る地元調整に関することは、発注者の責務とする。
- (2) 上記(1)以外の工事目的物を完成するための施工に関する必要な地元調整は、受注者の責務とする。

3 定義

- (1) 「地元代表者等」とは、連合自治会長、自治会長等地域をとりまとめる者をいう。また、水利組合、漁業協同組合等など利害関係者の代表者を含むものとする。
- (2) 「不当要求行為等」とは、
 - ア 正当な理由なく面会を強要する行為又は拒否する行為
 - イ 暴力行為、脅迫行為
 - ウ 正当な権利行使を装い、又は社会常識を逸脱した手段により金銭又は権利を不当に要求する行為
 - エ 粗野又は乱暴な言動により他人に不安又は嫌悪の情を抱かせる行為
 - オ 下請負人等に特定の者を採用するよう要求する行為
 - カ アからオまでに掲げるもののほか、工事に支障を生じさせる等一切の行為
- (3) 「下請負人等」とは、工事に係る下請負人、資材業者、運搬業者、測量業者及び設備・物品納入業者等をいう。

4 工事説明の進め方

- (1) 発注者は、発注前に地元代表者等と工事の目的、内容・効果、工事実施の条件等について協議を整え発注し、受注者決定後、工事名、工事場所、工期及び受注者について地元代表者等に依頼して、施工近隣住民に周知を行う。
- (2) 受注者は、受注後速やかに施工計画書を作成することとし、発注者による周知を行った後、工事開始時期、工事実施期間、交通規制方法など工事施工に関することを、地元代表者等に説明すること。その上で工事施工に関すること以外の工事の目的、内容・効果等受注者のみで対応できない説明を求められた場合には、発注者が同行のもと説明を行うものとする。
- (3) 受注者は、地元代表者等への説明後、共仕の「工事中の安全確保（工事説明書）」に基づき、必要に応じて、工事内容、工事実施期間、交通規制方法及び受注者連絡先を記した工事への協力を求めるための文書を作成し、配布するなど工事現場の説明性の向上を図るものとする。
- (4) 受注者の説明に対し、地元代表者等の協力を得ることができない場合は、工事名、工事場所、工期及び受注者について施工近隣住民等へ各戸配布により周知し、協力を求めるなど受注者及び発注者で協議し、工事を進めるものとする。

- (5) 工事着手後、施工方法等に変更が生じた場合は、必要に応じ、受注者は地元代表者等に説明すること。また、工事の施工に関する苦情や要望は、受注者が対応にあたるものとする。ただし、受注者の責務を果たしたうえで受注者のみで解決が困難な場合は、発注者も同行し、対応に当たるものとする。
- (6) 受注者は、地元調整を行った場合は工事実施に向けて調整及び協議した経緯を記録した書面、配布した文書等を工事打合せ簿に添えて監督員に提出すること。

5 不当要求行為等

- (1) 受注者は、不当要求行為等を受けた場合は、速やかに発注担当部(局)の部次長等（津市事務分掌規則（平成18年1月1日規則第6号）第4条第1項第2号に規定する部次長、同条第2号の2項に規定する局次長、同条第2項に規定する所長及び同条第5項第2号に規定する担当参事をいう。）に報告するとともに、所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。また、下請負人等が不当要求行為等を受けた場合は、その事実を受注者から発注担当部(局)の部次長等へ報告するとともに、下請負人等に所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターへ通報をさせるものとする。
- (2) 受注者による地元調整において、発注者が同行した際に、不当要求行為等を受けた場合は、受注者、発注者双方が所轄の警察署及び暴力追放三重県民センターに通報を行うものとする。
- (3) 受注者及び下請負人等は、不当要求等を受けた事実を記録しておかなければならない。

ワンデーレスポンス実施に関する特記仕様書

1. この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事である。
「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議等に対し、発注者は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することである。
ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。
なお、質問・協議等にあたっては、詳細な状況資料等を添えるものとし、内容によっては、根拠資料を揃えた提案を含むものとする。
2. 受注者は計画工程表の提出にあたって、作業間の関連把握や工事の進捗状況等を把握できる工程管理方法について、監督職員と協議をおこなうこと。
3. 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合及び計画工程と実施工程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに文書にて監督職員へ報告すること。
4. 発注者が効果・課題等を把握するためアンケート等のフォローアップ調査を実施する場合、受注者は協力すること。

基礎ぐい工事に関する特記仕様書

1 全般

既製杭工については、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書によるものとする。
 なお、当基礎ぐい工事に関する特記仕様書は、他の特記仕様書より優先するものとする。

2 適用すべき諸基準

受注者は、下記の基準を適用する。
 国土交通省告示第四百六十八号 基礎ぐい工事の適正な施工を確保するために講ずべき措置（平成28年3月4日）

3 施工計画書、施工記録

受注者は、既製杭の施工前に「基礎杭施工計画書」を監督員に提出しなければならない。施工計画書には以下の項目について詳細に記載し、施工にあたりその内容を実に履行するとともに、杭全数の施工記録を整備および保管しなければならない。

- (1) 納入する杭、その他使用する材料の規格・品質確認の方法
- (2) 材料の現地搬入時における規格・品質・納入数量の確認方法
- (3) 工法の名称、概要、使用材料、適合条件、杭の支持力算定式を示した関連書類
- (4) 地盤の概要や設計支持力に関する事項
- (5) 施工の概要、手順、及び施工順序に関する事項
- (6) 使用する機械設備に関する事項、および当該機械の性能の証明に関する事項
- (7) 機械設備等の配置平面図、側面図
- (8) 各種注入材料の品質、名称、配合量等の配合計画に関する事項、および出典根拠
- (9) 各種注入液の配合設備及び練混ぜ方法に関する事項
- (10) 試験杭等の目的、場所、時期、及び試験結果の反映方法等に関する事項
- (11) 杭打設における施工管理方法に関する事項
 掘削速度や引上げ速度、杭芯ずれ、鉛直度、杭体の保持、杭頭高さ（打止め高さ）、所定深度への到達、球根拡大、杭1本ごとの各種注入液（根固め液、杭周固定液）の注入量の確認方法（流量計等）、杭の沈設、支持層管理（オーガ駆動）電流値の確認方法、その他、各段階における必要な施工管理項目
- (12) 継手の施工管理方法に関する事項
 溶接前の溶接面の有害物除去状況、溶接時の天候、その他必要な施工管理項目
- (13) 各種注入液（根固め液、杭周固定液）の配合や圧縮強度試験等、品質を証明するために必要な試験方法及び頻度等に関する事項
- (14) 施工及び施工管理に関して、技術者及びその他作業人員の配置、役割、チェック体制及び責任の所在
- (15) 取得すべき施工記録が取得できない場合に、当該施工記録に代替する記録を確保するための手法
- (16) 上記のほか必要な事項

※（8）、（9）、（11）から（13）の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

4 不可視部の写真撮影

杭の施工にあたっては、不可視部の確認ができるよう写真管理を適切に行うこと。
 近景、遠景共に、杭やビット、溶接箇所、黒板等に杭番号、その他必要な情報を入れて撮影すること。

5 試験杭

試験杭は、以下のことについて調査・確認を行うこと。

- (1) 地盤に適合した杭長の確認
- (2) 支持層の位置（深度）と土質標本との確認
- (3) 適切な施工機械の確認
- (4) 施工時間の調査による工程の確認
- (5) 各種注入液の適否の調査
- (6) 溶接継ぎ手のパス数や外観検査
- (7) 各作業項目における電流値の変化、土質データとの電流値の相関関係
- (8) 杭の沈設精度の管理方法

※（５）から（８）の項目については、各現場に応じて適宜修正を行うこと。

6 支持層への到達確認

受注者は、杭全数について支持層への到達を確認すること。なお、確認にあたっては、ボーリングデータ等の土質調査資料、試験杭における各土質とオーガ掘削時の電流値の比較、隣接する施工済み杭の施工記録等により総合的に判断する。

支持層到達の判断が困難となった場合は、監督員と協議すること。

7 施工記録の提出

受注者は、杭の施工期間中は、１週間ごとに、その週に施工した杭の施工記録を取りまとめ、翌週以内に監督員に工事打合せ簿を添付したうえで提出し、確認を受けること。また電流値が記録されたチャート紙等の原本を合わせて提示し、必ず監督員の確認を受けること。

8 根拠資料の保管

共通仕様書、特記仕様書、及びその他基準書等の定めにより作成した施工管理資料の根拠となる資料（野帳、手簿、チャート紙、電子的な記録やプリントアウト紙等）は、受注者において全て適切に管理し、保管しなければならない。保管期間は契約書第３１条第４項又は第５項（第３８条においてこれらの規定を準用する場合を含む。）の規定による引渡しを受けた日から１０年とする。

また、発注者から請求があった場合は、速やかにこれらを提出または提示しなければならない。